枝高の風

枝高の風　第１０号
発行日：2018年1月30日
発行者：北海道枝幸高等学校
TEL：0163-62-1169
FAX：0163-62-3490

本年も枝高をどうぞよろしくお願いします。校長　吉田　勝文

１月は「行く」、２月は「逃げる」、３月は「去る」と言いますが、あっという間に新学期を迎える慌ただしさを感じて過ごす３ヶ月になります。

冬休み明けの集会で、生徒の皆さんに長年、多くの人に親しまれてきた２つのマンガの話をしました。その内容を保護者・地域の皆さんにもご紹介したいと思います。

それは、「サザエさん」と「ドラえもん」についてです。

「サザエさん」は、二世帯の家庭の中で日常的な話題から繰り広げられることを話題としています。

登場人物は、厳しい父に、優しい母、サザエさんと兄弟、夫と息子が中心です。

この家庭の中で描かれる愛らしいキャラクターの行動や感情に対し、共感を覚え、心温まる思いになります。

「ドラえもん」は、のび太とその友人の中で起こる問題をドラえもんの道具を使って解決していくといったお話です。

登場人物は、優しい父、しかり役の母、友人はジャイアン、スネオ、しずかちゃんなど、どんな社会にもいるような特徴あるキャラクターです。

ドラえもんの道具には、我々の夢が込められているように思いますが皆さんはどれが好きですか。

ランキングを見ると、上位に位置するのは、どこでもドア、タケコプター、もしもボックス、アンキパン、ほんやくコンニャクなどです。

ここで、注目したい人物が２人います。それは、カツオとのび太です。２人の共通点は、どちらも勉強が好きではなく、気持ちが優しく弱い者いじめなどはしない、家の人によく叱られるなどです。

違いとしては、カツオは外遊びが好きで、リーダーにもなれる。その点、のび太は、運動が苦手で、友達の後ろについて遊ぶことです。

さらに焦点を当てたい共通点がもう１つあります。それは、２人の問題解決に向けた能力、又は、態度です。

カツオは知恵を巡らせて、父に怒鳴られながらも、問題を解決していこうとするたくましさがあります。 一方、のび太は、ドラえもんの力を借りながらも、勇気を出して、問題を解決していこうとします。この点については、見習うところがあります。

社会に出てからも、この問題解決の能力や態度はとても重要です。

皆さんにとって、学校等で突き当たる問題は、学習のことなど様々でしょうが、解決に向けて試行錯誤し努力する中で、社会で必要な問題解決の能力や態度が育まれていきます。

どうか、皆さん、何か、問題に突き当たったときは、逃げることなく、自ら考え、判断し、行動して、その問題を解決していくように努めてください。

生徒の皆さんにこのような話をして終わりました。これからも枝高へのご協力をお願いいたします。

枝幸町議会傍聴を行いました（２年生）

身近な地方行政を学ぶために、１２月１３日に２年生５６名が、町議会を傍聴しました。この取組は、選挙権が１８歳以上に引き下げられました昨年度から、主権者として社会に関わる力を学ぶ「主権者教育」の一環として行っています。生徒は議会で２時間にわたり「町農業の現状と今後の方策について」「担い手不足対策」「教職員の長時間勤務の実態と対策」などの一般質問に耳を傾けました。参加した生徒からは「この経験を機に TV で放送されている国会などに興味を持ち、自分が住んでいる国の現状などを知るという姿勢を大切にしたい」などの感想が聞かれました。

枝高職員を紹介します⑨

山根　若葉　先生

（やまね　わかば）先生

１Ｂ担任

家庭科

総合文化研究部、女子バスケ部顧問

愛知県犬山市出身。平成２６年度枝幸高校に新採用。

枝幸に来てから、自分の住んでいる地域に誇りと関心を持ち、自分の生活が社会とつながっていることを、さまざまな体験を通して学んでほしいとの思いから、地域と連携した授業に力を入れている。このような取組ができるのは地域の方の協力のおかげ、と語る。

顧問を務める総合文化研究部は生徒自身がやりたいことを研究する部活。現在は、部員とともに枝幸のリスや野鳥、野ウサギなどの動物の骨格標本を作成。オホーツクミュージアムえさしに展示されているので、是非見に来てほしいとの由。

昨年度は、JICA 教師海外派遣でミャンマーにて研修。民族衣装を着て授業も行うなど、国際理解教育にも強い意欲を持っている。

山形　浩史 先生

（やまがた　ひろし）先生

３学年付き

商業科

卓球部顧問

函館市出身。平成２９年度枝幸高校に新採用。中、高ではバスケット部。高３時に航空自衛官を目指すも、視力の関係で断念。札幌学院大学では、特に会社法について学ぶ。折しも、当時は超就職氷河期。教授のすすめで公務員を受験し、国土交通省へ就職。しかし、生徒とともに自分も成長できる教員になりたいという思いを断ちがたく、一念発起し、１５年務めた国交省を退職、大学へ通い直して教員免許を取得し、枝高へ。

簿記とは会社の家計簿。お金の出入りを一定の法則に従って記録する方法を学ぶ教科。何かが起こるときは、必ず原因があるという社会の二面性が見えてくることを教えたいと語る。

趣味は音楽鑑賞、オーディオ、読書。帯広のインディアンカレーが好物。